



# MSAマスタートシードアカデミー 2020-21 冬期セミナー/直前講習 講座案内

## 冬期セミナー日程一覧

難関大受験生 MSAの冬期英語講座				
コード	日程	時間	講座名	受講料(税込)
W801	12/5	15:15-18:30	差がつく！ピンポイント講義① 門外不出の多義語エッセンシャル	7,500(8,250)
W802	12/12	15:15-18:30	差がつく！ピンポイント講義② 読解選択肢の絞り込み方	7,500(8,250)
W101	12/19-22	<b>第1タームセット</b>		50,600(55,660)
		10:00-12:00 早慶上智ICU勝利のボキャブラリー 13:00-16:20 英語長文・速読解法テクニックと実戦演習		
W201	12/24-27	<b>第2タームセット</b>		52,800(58,080)
		10:00-12:00 早慶上智ICU勝利の英文法語法 13:00-17:10 英語長文・複数パッセージ大量速解ゼミ		

難関大受験生 MSAの冬期小論文				
W505	12/5, 12/12	13:00-15:00	慶應・海外大特化小論文	12,500(13,750)

新高3生 難関大先取り スタートダッシュ英語				
W901	1/6, 7, 8	17:30-19:00	ここからスタート！合格する英語学習の始め方① ～語彙・文法編～	15,000(16,500)
W902	1/11, 12, 13	17:30-19:00	ここからスタート！合格する英語学習の始め方① ～長文・解釈編～	15,000(16,500)

- 講座は途中休憩があります。授業終了時間は目安です。若干前後する可能性があります。
- お申込み確定(=受講料のお振り込み)後、お申込みご本人の都合によるキャンセルの場合、受講料の返還は一切できませんので、ご確認の上、お申し込みください。

# [W801] 差がつく！ピンポイント講義 ①

## 門外不出の多義語エッセンシャル

なんと恐ろしい！知っている語句に、こんな予想外の意味があったなんて！しかも、使用度数がそれなりに高い、となれば大変です。下線部訳問題が出題されるならば言うまでもなく、長文読解においても、「多義語の意味の取り違い」ほど恐ろしいことはありません。自分ではわかって読んでいるつもりでも、実は全く逆の意味に解釈していることがあるからです。

一つ例題を。人から褒められたときに"I am flattered to hear that."はなんと訳しますか？flatterとcomplimentの違いくらい、難関大を目指す受験生なら知らない人はいないでしょう。どちらも「褒め言葉」。しかし、flatterは「こびへつらい、お世辞」というネガティブなニュアンスがこめられるのに対し、complimentには「賛辞」という肯定的なニュアンスがあります。ここまでは難関大学受験生なら誰でも知っている（べき）ことです。ならば、"Thank you for the compliment."で「お褒めいただき光栄です」ですから、"I am flattered to hear that."は、「それをきいて、こびへつらわれたようで不快だった」としましょか？ちょっと待ってください。そんな解釈をしたらその瞬間、筆者が意図することは全く逆の「空想・妄想読解」へとひた走ることになります。"I'm flattered to hear that."という場合、相手の褒め言葉を皮肉にとっているのではなく、そのまま素直に「そんなに褒めていただいて照れてしまいます」というような意味を持つのです。

これは、決して「重箱の隅を突く」ようなことではなく、「そこそこは読めるんだけど落ちる人」と「ちゃんと読めて受かる人」の代表的な違いの1つです。本講座では、「記憶力がとぎすまされているこの時期」に、1つでも多くの差がつく多義語をギュウギュウ詰め込みます。当講座受講生の特典として、何年もかけて集め、まとめてきた「厳選重要多義語プリント」を差し上げます。

# [W802] 差がつく！ピンポイント講義 ②

## 読解選択肢の絞り込み方

「なぜこういう問題で受験生はひっかかるのだろうか？」「どんな練習が必要なのだろうか？」「単なる小手先のテクニックに終わらない『どこでも通じる』トレーニング方法はないのだろうか？」「単なる英語力を超えた『思考力』を問う問題に対応できる訓練はどのようにすればよいのだろうか？」「選択肢を最後の2つにまで絞り込めるのだが、その後でいつも間違ってしまう。何か練習方法はないのか？」

実は、冬期セミナーの時期になってもなかなか克服できていない（そして克服できないまま終わりがちな）が「長文読解・類推Inference（演繹、帰納推理）やAnalogy（論理類推）」です。

出題パターンは色々ありますが、要は「本文中でズバリ言い切っていないが、しかし、本文中に書かれていることから十分に言い得ること」が見抜けるかどうかを試す問題です。例えば「本文中で展開されている論理に従って考えた場合、選択肢に与えられたstatementのどこまでを引き出すことができるのか」「例を通して筆者が言おうとしていることは何か」「筆者が言外にほめかしていることは何か」など、選択肢形式でも、記述説明形式でもどちらでも問われています。そして受験生泣かせの「本文中の記述と一致、矛盾、判断不可能」タイプの「内容真偽問題」の練習にも最適です。この講座で学ぶことは客観選択式問題だけでなく、記述型説明問題にも応用できます。例えば、英文中に下線が引かれ、その下線部分の表現を通して筆者が本当に言いたいことは何かをまとめる問題などでも威力を発揮するでしょう。

本講座では、2～3行の短い英文を使い、その中に隠された論理を見抜き、選択肢を絞り込む練習に「全エネルギー」を傾けます。

# [W101] 第1タームセット

## 早慶上智ICU勝利のボキャブラリー

### ■なかなか手に入らない「難関大学特化」ハイレベル文法語法問題満載テストゼミ

毎年、第一志望合格を果たす先輩たちが言うのが「最後の最後はボキャブラリーで決まる」ということです。その通りです。難関大で最後の最後に勝負を決めるのは「たった1つの単語」かも知れません。実際に、かなり難度の高い語(句)の出題が目立っています。従来の「受験」の基準からすれば、確かに「難しい」のですが、このような語(句)は英字新聞や、知識人の読む文章には頻出のものばかりです。当然、大学側もこの程度の語(句)は知った上で入学して欲しいというメッセージを出しているのでしょうか。長文読解のパスセージ中にも脚注なしでどんどん「難単語」があらわれます。

その中でも、受験生を悩ませるのが「語法問題」です。語法とは、日本語に訳せば同じような意味なのに、微妙にニュアンスが異なり使い方に注意が必要なものです。毎年、早慶上智トリプル合格といった快挙を果たす先輩達は、このような問題で確実に得点している一方、不合格に終わる生徒は、ここまできちんとカバーしていないのです。当講座では、予習不要の問題演習を通して、他の受験生には絶対に負けない盤石の語法・語い力を養成します。

## 英語長文・速読解法テクニックと実戦演習

### ■英語長文読解問題を「1秒でも速く解く」ための集中特訓

難関大学受験生の大半が「もっとスピードを上げて解答したい」と考えるのが12月です。ここで大切なのは、「全ての文章が同じようなスピードで読めるはずがない」という現実的な考え方です。日本語の文章でも、スポーツや芸能記事と、文芸評論や哲学的な文章では読むスピードが大幅に変わります。では、どのようにしたら「英語長文読解問題の解答速度」を高めることができるのでしょうか？

それは、「機械的に英文を読むスピードそのものをあげる」ことに無駄なエネルギーを費やすのではなく、結果として、余裕をもって制限時間内に全問を解き終え、かつ正答率を上げることに重点をおいた練習をすることです。そこで重要なのが、設問解答を前提としたアプローチです。ただ漠然と英文パッセージを読むのではなく、「このような問題の場合は、このような手順で解くのが効率的」と、英文のジャンルや、長さ、設問形式ごとに戦略を立てることが必要です。また、解く順番も「制限時間の枠内で全問解答する」ためには、大きな差を生みます。

### ■オリジナルプリントで「スピーディ解答」のコツを徹底指導

授業では、一目で「目の付け所」がわかるプリントを使用し、一緒にワークショップ形式で、スピーディに解答するコツを学びます。

### ■講義後、すぐにテスト演習で「コツ」を実戦練習！

大切なのは「その場で身につける」こと！カラープリントを使用したワークショップ型の講義で「コツ」を学んだら、今度は、すぐにそれを「実戦形式」の長文問題で演習し、その場で自分のものにしてしまいます。

### ■差がつく！ピンポイント講義②「読解選択肢の絞り込み方」

→第1ターム「英語長文・速読解法テクニックと実戦演習」

→第2ターム「英語長文・複数パッセージ大量速解ゼミ」

3つの組み合わせでもう一段上の英語力獲得！

# [W201] 第2タームセット

## 早慶上智ICU勝利の英文法語法

「参加して本当に良かった」「他の予備校の講習に行かなくて良かった。こんな問題演習は他ではできなかったと思う」「文法はできていると思っていたが、自分の知識は穴だらけであることがわかった」「この時期に最高の勉強ができた」「僕は浪人だが、なぜ去年落ちたかが、この講座を受けて痛いほどわかった。受講して本当に、本当に良かった」……受講後に聞かれる感想です。

「共通テストはもとより、早慶上智レベルでも文法語法は満点を狙いたい」—そんな難関大学志望者の声に答えたスペシャル講座。早慶上智ランクの文法（当然、MARCH合格には必須中の必須）は、単に考えただけでわかるような「理屈がらみ」の問題だけではなく「一度やったことがあるかないか」で勝負が決まる「経験と知識」も極めて重要です。誤文訂正、空所補充という早慶上智で必出のパターンの中から「受験生が苦手」な問題をどんどん解き進めます。予習不要のテスト演習形式ですので、年末の重要な時期に時間も労力も最高効率で回転させることができます。他校のように過去問だけを集めた「どこかでやったことのある問題」ではなく、新しい発見を1つでも多く得ることができるように厳選された問題ばかりです。また、現役生にとっては、浪人生に追いつく最大のチャンスです！

## 英語長文・複数パッセージ大量速解ゼミ

### ■過去問を一切使わない本番形式《複数パッセージ・スピード解答》徹底特訓

「完全勝利をめざす受験生」のための《プレミアム講座》です。早慶ダブル合格、早慶上智トリプル合格、国立、医学部合格、慶應4学部合格など、大きな実を結んだ先輩達が高く評価している講座です。本講座ではハイレベルの複数の長文パッセージを制限時間内に解き切る特訓をします。例年、難関大学合格者は、冬には「自分の限界と思っていたライン」を越えるために、最後にハードな練習をして、分厚い壁を突き破っています。「何が何でも、無理をしてでも、この冬、《自分にもこんな長い、難しい文章が読めるのだ》という「事実」を経験し、「実績」を作り、そしてそれを「自信」に変えるのです。

この講座は特訓です。80-90分の枠組みの中で、3-4つのパッセージを解きます。なぜこんな練習をするのでしょうか？実際の入試で3つの長文読解問題が出されたとします。どれも同じ長さのものだとしても、恐らく、それぞれのパッセージに要する時間は異なるはずです。試験に強い人は、1つ1つのパッセージを確実に一定時間内で処理できる力に加えて、本講座が焦点を当てる『入試の制限時間内に、他の大問とのバランスを考えながら時間調整を上手にこなす力』を持っているのです。

### ■不合格者が陥る「わな」

不合格者は、この練習量が圧倒的に足りないのです。同じレベルの過去問をひたすら解き、合格最低点と照らし合わせて一喜一憂しているだけなのです。あと2ヶ月弱しか残されていないにもかかわらず、いつまでも現実から目を背けて「こんな難しいことはやらなくても良い」とか、「まだ基礎ができていないから」とか「同じ問題集を繰り返し」（それは、夏ならわかりますが、もう、冬です!）とか言っている、何も始まりません。

### ■現役生、弱気は無用！

現役生諸君は、浪人と比べると、「ギリギリの状況で問題を解く訓練」が圧倒的に足りていません。だからこそ、ここで歯を食いしばって浪人のトップレベルとの戦いであることを知らねばなりません。これを読んで「こんなことできない（する気がない）」と《ひいて》しまうのならば、残念ながら難関大の合格は無理です。しかし、「ちょっと難しいかな」と不安を抱きながらもこの講座を受講し、乗り切った生徒の中で難関大学第一志望合格を果たした現役生は少なくありません。「壁の前で尻込みするか、取えてぶつかるか」は大きな違いを生み出します。

## ■家では過去問正答率9割なのに、なぜ偏差値50前半レベルにも受からないか？

家で過去問を解くと「そこそこ」解けるので「大丈夫」と思っていると、第一志望どころか、第五志望の大学にも受からない受験生が少なくありません。頭の上を英文が通り過ぎていくような経験はありませんか？家で早稲田の過去問を解くときには9割くらい解ける人が、なぜ日東駒専ランクの大学にも落ちるのでしょうか？試験会場で「時間がなくて解けませんでした」「頭が真っ白になりました」「焦って何が何だかわからなくなった」などと、いくら泣いても後の祭り。今なら「後の祭り」を阻止することができます。

そのようなとき、「この初めて見る語句はきっと英文中で説明されていくはずだから、この段階ではわからなくても大丈夫。あ、ここは筆者の主張が書かれていそうだから丁寧に読まないといけない・・・ん？でも何を言っているかわからない。これは例から割り出すしかない！」というように、冷静に自分の培ってきた英語力をフル稼働して対処する力が必要です。

この講座では、そのような「力」を養成します。他の多くの予備校ではここまで「タフ」な訓練はしていないだけに、この講座を乗り切った人の「自信」と「問題を見る目」は誰にも負けないものとなるでしょう。

# [W505] 慶應・海外特化小論文

## ■小論文の総仕上げ

これまで蓄積してきた知識をフルに活用し、本番で勝負できる答案を時間内に仕上げる最後の最後の練習です。課題文の読解、ブレインストーミング、ポイント整理、実際の執筆と、本番直前ならではの緊張感を持って、時間配分など綿密にシミュレーションしておく最後の機会です。今年はどうなテーマが出題されるのか？試験当日を楽しみにするぐらいの余裕を持って取り組めるよう、書き上げるまでの流れを具体的に最終チェックします。

# [W901/W902] 新高3生 難関大先取り スタートダッシュ講座①②

## ■難関大を目指す現高2生！

いよいよ大学受験生になる年です。現役高校2年生にとっては、「英語が重要なのはわかってるけど、このままの勉強ではマズい気がする…」 「難関大に合格したいけど、自信がない…」 というのが正直なところかも知れません。

新高3生（現高2生）の受験は、「1月スタート」が常識です。1月からはじめてやっとなら丸1年の時間を確保できます。4月からでは3ヶ月もの差が…。スタート時期の3ヶ月は、あとでとんでもない差に増幅されます。早く始めればその分、良い方向に増幅され、遅ればその分、良くない方向に増幅されます。この時期に「なにを」「どこまで」やればよいのかを明確にし、ゴールと現在地を確認します。

スタートダッシュ講座①では、語彙力増強のための覚え方のコツや、毎日の学習をどのように継続させていけばよいか、また、これから単語を覚えていく際にどういった点に注意して覚えるかなど細かくお話しします。そして、話を聞いたら、即日実行です。同じように、英文法についても、難関大受験を念頭にポイントを整理しながら明日からの学習に活かせることをたっぷりお伝えします。なぜ、英文法が理解できるだけでは足りないのか、難関大の問題は何が難しいのかなど、明確に意識して行きましょう。

スタートダッシュ講座②では、とくに「長文が苦手」という方を念頭に、「苦手の原因」を解きほぐして行き、今後の長文読解への取り組みをプラスに変えていきます。また、「英文解釈」というと「英文和訳」とまったく同じように捉えている方もいますが、これがいかに重要であるかを、練習をしながら確認します。今までの英語学習でなにが足りなかったのか、明確になるはずです。

## 直前講習日程一覧

日程	時間	#	講座名
1/9 (土)	10:30-13:30	J301	難関大学特化・前置詞+冠詞の特訓演習1
	14:30-17:30	J101	長文読解合格王A-1
1/10 (日)	10:30-13:30	J501	慶應小論文総まとめ1 (文・法系統)
	14:30-17:30	J103	長文読解合格王A-3
1/22 (金)	10:30-13:30	J201	長文読解合格王B-1
1/23 (土)	10:30-13:30	J302	難関大学特化・前置詞+冠詞の特訓演習2
	14:30-17:30	J502	慶應小論文総まとめ2 (経済・総合政策系統)
1/24 (日)	10:30-13:30	J401	日本一のボキャブラリー1
	14:30-17:30	J102	長文読解合格王A-2
1/27 (水)	10:30-13:30	J311	早慶上智満点の文法語法1
	14:30-17:30	J202	長文読解合格王B-2
1/28 (木)	10:30-13:30	J312	早慶上智満点の文法語法2
	14:30-17:30	J104	長文読解合格王A-4
1/29 (金)	10:30-13:30	J105	長文読解合格王A-5
	14:30-17:30	J402	日本一のボキャブラリー2
1/30 (土)	10:30-13:30	J403	日本一のボキャブラリー3
	14:30-17:30	J203	長文読解合格王B-3
1/31 (日)	10:30-13:30	J204	長文読解合格王B-4
	14:30-17:30	J313	早慶上智満点の文法語法3

●各回完結です。ご都合に合わせてお選びください。どの回も内容が異なります。昨年度・今年度の講習・通常授業との重複はありません。

### 【J101~J105】長文読解合格王A1~5

500~800語の長さの、さまざまなジャンルから厳選したパッセージ。緊張感ある「演習+講義」を2セットこなし、勝利力を固めます。過去問は一切使いません。直前期の貴重な時間に「どこかで見たことのあるパッセージ」を出されたらガッカリしてしまいます。「MSA直前講習」ではそのようなことはありません。本番さながら！テスト形式で予習不要。演習後、即、講義が始まりますから「ひっかかった問題、悩んだ問題」の解法・目の付け所・次

回からの対処法が学べます。客観（選択式）問題、記述問題をバランス良く取り入れています。

### 【J201~J204】長文読解合格王B1~4

1000語以上の長さの、さまざまなジャンルから厳選したパッセージで緊張感ある「演習+迫力講義」1セットをこなし、勝利力を固めます。予習不要。他校ではなかなかできない「本格的な『超』長文演習」です。客観（選択式）問題、記述問題をバランス良く取り入れています。赤本の切り貼りで問題を作る予備校もある中「MSA直前講習」では、初めて見る英文パッセージで演習して力をつけます。

---

## 【J301, J302】 難関大学特化・前置詞+冠詞の特訓演習 1, 2

---

「やっておいて良かった」「本番ですごく役立った」。独習ではなかなか手が回らない前置詞と冠詞だけにターゲットを絞った問題を多数解き、前置詞・冠詞の特徴をおさえると共に、「センス」を磨き上げます。

---

## 【J311~J313】 早慶上智ICU満点の文法語法 1~3

---

「早慶上智ICU満点の文法語法 1~3」大量のトップレベル問題をこなすことで、出題者の意図まで見抜けるようになることを目指します。それだけではありません。めざすは《1問5~10秒で勝負をつける》最速スピードです。これで、長文読解にたっぷり時間をかけることができます。もちろん、本番であなたの隣に座る受験生はあなたのスピードにのみ込まれて、固まってしまう。

---

## 【J401~J403】 日本一のボキャブラリー 1~3

---

難関私大入試で、最後の最後に力を発揮するのは「語い力」です。優秀な受験生が集まる難関大の受

験では同じ点数上に、何十人、何百人と並ぶ可能性もあります。たった1点の差で合否が分かります。単語1つ多く知っているだけで決まることもあるのです。合格者が「大きな自信につながった」と言うだけではなく、「英語ではほとんど満点とれました。直前講習のお陰です」とわざわざお礼を言われたほどです。ボキャブラリーに特化した他のどこでもやっていないMSA直前講習における自慢の講座です。1回の講座で選択肢を含め、250語程度をカバーし、徹底的に鍛えます。

---

## 【J501, J502】 慶應小論文総まとめ 1, 2

\*課題文は慶応に限らず「過去問」を使用します。

学部系統ごとに近年の過去問を振り返りながら、課題文のポイントと出題意図を整理し、どのような方向性で書くことが望ましいかを分析します。課題文にある設問から問いを冷静に分析し、自分なりの問いをしっかりと立てる。この「問いの立て方」が最大のポイントです。そして、ブレインストーミングで問いを広げて絞る作業をし、文章全体のアウトラインを構成していきます。ここまでできて初めて、「まともな答案」の土俵に上がることができます。他の受験生から頭1つ分、いや2つ分抜き出した答案を目指すための最後の論点整理、詰め込み講座です。

\* \* \*

---

## ■ 受講方式をお選びください

---

【教室対面】 直接、渋谷の教室に登校して授業を受けます。定員は申込先着順で5名です。（入室時には手指の消毒をし、教室内ではマスク着用をお願いします。定期的に窓を開けて換気を行いますので、暖かくしてご登校ください。）教室は、MSAマスタードシードアカデミー（東京都渋谷区渋谷2-14-13 岡崎ビル8F Tel 03-6272-8683）です。渋谷駅東口から徒歩5~6分です。

【ネットライブ】 Zoomを利用したネットライブ授業です。教室での授業と同時進行のライブ形式です。録画授業ではありません。PDFデータをお送りし、必要に応じてご自身でプリントアウトをお願いする場合があります。

\*いずれの方式でも、ご質問や相談は授業後にお時間をお取りします。また、メールでも受け付けますのでご利用ください。送信先は受講登録後にご連絡します。

【ネットライブ】 でお申し込みの方が、受講途中で【教室対面授業】に切り替える場合は、定員に達していない講座のみ受け付けます。ご相談ください。

【教室対面授業】 でお申し込みの方で、都合により登校が難しい日程があれば、【ネットライブ】 授業をご利用いただけます。

---

## ■お申込み方法

---

MSA在籍生は、メールでお届けする申込専用フォームから申し込みをしてください。受付後、受講料のご案内書類PDFをメールでお送りします。ご自身で内容を確認後、お振込の手続きをお願いします。なお、IFU出願者はIFUから指定されているMSAでの授業受講時間規定\*があります。

\*規定の授業時間数を満たさない場合は、正式な「合格」となりません。

「冬期セミナー」 第1タームセット+第2タームセット

「直前講習」 8講座以上

冬期セミナー・直前講習のみご受講の方は、メール（msa@msaeigo.com）にてお申し込みの旨、ご連絡ください。専用の申し込みフォームをお伝えします。メールには「お名前（フルネーム）とふりがな、ご学年、ご希望の受講方式」をご明記ください。メールをお送りいただいてから、24時間以内に返信がない場合、送受信になんらかの問題があった可能性があります。お手数ですがお電話（03-6272-8683）でご確認ください。

---

## ■「受講料」

---

- ①「冬期セミナー」は「冬期セミナー日程一覧」の受講料をご覧ください。
- ②「直前講習」は、1講座につき3,300円（税込）です。

---

## ■テキスト

---

テキスト（事前予習が必要な講座のみ。直前講習はすべて予習不要）は、受講開始日の10日～1週間前にお届けします。受講講座開始1週間前になっても届かない場合は、必ずMSAまでご連絡下さい。冬期セミナーでは、タームごとに分けてテキスト・ご案内等をお送りすることがあります。

---

## ■受講にあたっての注意

---

（1）本セミナー開始後に、天災、あるいは非常事態、その他、主催者の責任を越える不可抗力で中止せざるを得なくなった場合、すでに実施された講義相当額、テキスト、それらに関わる一切の費用を差し引いた分に関して払い戻しをおこないます。振込料は受講生のご負担となります。（2）講師が急病などになった場合、代講します。あるいは、後日に講義を振り替えて実施する場合があります。その場合の、参加者個人の交通費、宿泊費などは主催者の免責事項とさせていただきます。（3）参加者本人の都合で参加できなくなった場合、授業前のキャンセルも含め、払いこみ後の受講料の払い戻しは一切できません。（4）以上の項目に関し、本セミナー申し込みをもって、同意し遵守するという意思表示とさせていただきます。（5）やむを得ぬ事情により講義時間・会場が変更することがあります。

MSA マスタードシードアカデミー

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-13 岡崎ビル8F

TEL: 03-6272-8683

Email: msa@msaeigo.com